

9月定例会の議案質疑等の内容

9月定例会(8月30日から9月21日まで開催)では、市長提出議案23件のほか、議員提出議案1件、請願1件を審議しました。質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。

4年度一般会計決算

歳入

不納欠損額

問 不納欠損額が3年度決算比約1200万円増加となっているが、その要因は。

答 市税が大半を占めており、例年になく高額滞納の事案が個人市民税および固定資産税でそれぞれ1件あったため。

用語解説

【不納欠損】
未納となつている市の債権のうち、時効等により債権が消滅した場合や徴収不能により債権放棄をした場合に行われるもの。

寄附金

問 社会福祉推進事業寄附金 黒岩信江様からの2千万円について、経緯および寄附の意図は。

答 黒岩様の遺産を、盲導犬協会と市に寄附したいと依頼があった。福祉に役立てていただきたいとの意向である。

歳出

婚活支援

問 婚活支援セミナー委託料、婚活イベント委託料の実績と

成果は。

答 婚活支援セミナーは、2回開催して計31人が参加。参加者アンケートでは、82%の方が満足したと回答した。婚活イベントは、6回開催し、4回を委託により実施している。すべてのイベントにおいて、募集人数を上回る応募があり抽選を行っている。追跡調査は行っていないが、成婚したとの情報は今のところ把握していない。

空き家対策

問 空き家解体補助金が当初予算より減額している理由は。

答 より多くの方に利用してもらうため、補助金額を市内業者が工事を行う場合は50万円から30万円に、市外業者の場合は40万円から20万円とし、申請者全員に支給した。申請件数は、3年度27件から4年度36件となり、今後も継続していく。

高齢者在宅サービス事業

問 成年後見推進事業委託料の内容と市民後見人の現状は。

答 成年後見制度の普及・啓発活動を行うことで市民の意識を高め、制度利用促進を図ることを目的に、秩父市社会福祉協議会に事業委託しており、4年度は、講演会を実施した。市民後見人の現状については、市民後見人養成研修を現在までに3回実施し、修了者を対象にフォローアップ講座を行っている。登録者数は46人となる。

障害者自立支援事業

問 コミュニケーション支援事業委託料の内容は。

答 聴覚障がい者、音声・言語機能障がい者に、必要に応じて手話通訳者または要約筆記者を派遣しており、利用者の負担はない。4年度は100人を派遣した。

入学準備品購入補助金

問 ランドセル購入のための補助金だが、3年度実績は繰越明許費を含め2130万円、4年度実績は前年度比で約3分の2程度となっている。新入学児童あたりの補助率は

どのようになっているか。

答 4年度の入学児童対象者397人に対し、293人の保護者から交付申請があり、補助率は約74%。3年度事業の入学準備金は、対象者426人に対し、すべての方に交付を行っており、支給割合は100%となっている。

学童保育室

問 学童保育室の待機率が大幅に増加している。原因と対策は。

答 待機児童は、2年度23人、3年度35人、4年度58人と増加している。原因は核家族化や共働き世帯が増加し、入室希望者が年々増加しているのに対し、受け入れ体制が追いついていないためと考えている。学校内の余裕教室を活用して学童保育室を開設するとともに、民間学童保育室との連携により受け入れ体制の拡充を図るなど対策を講じてきた。5年4月に影森地内に民間学童保育室が開設され、現在は待機児童は発生していない状況である。

事業者支援事業

問 新分野進出チャレンジ補助金が当初予算300万円に対し、決算額が97万7千円理由は。



の様子(本庁舎4階)

【答】 国や県の補助金の利用が多かったためか、4年度の申請は2件であった。新型コロナウイルス感染症支援策のため、5年度の予算措置はない。

公衆トイレ維持管理事業

【問】 苦情件数が3年度52件、4年度57件と増加傾向にあるが原因は。

【答】 苦情の主なものはいり器や手洗い設備の不具合等。施設の老朽化に伴う苦情が増加の主な原因である。

討論

反対

【答】 本来国が行うべき事務を自治体に担わせる法定受託事務であるマイナンバー関連事務によって、市および市民が大きな負担を強いられている。マイナンバー制度の信頼は今、大きく崩れており、政府は、制度の抜本的な見直しを図るべきだと考える。また、400人も児童が利用していた「ふれあい学校」を廃止したことに伴い、4年度の学童保育室の待機率が大幅に増加した。子どもの居場所の確保という問題だけでなく、まらず、保護者の雇用の確保の問題、「ふれあい学校」で働いていた会計年度任用職員の職が失

われたという問題にまで影響が及んでいると考え、反対する。

4年度 国民健康保険 特別会計決算

【問】 診療施設勘定の大滝国民健康保険診療所の医療機器購入費の内容は。また、大滝国民健康保険診療所における医療機器の充足はどのようになっているのか。

【答】 医療機器購入の内訳は、レントゲン画像読み取り装置および聴力検査器具である。大滝地域で安心して医療サービスを受ける事ができるよう、必要に応じて医療機器の更新を進めている。

討論

反対

【答】 市民からは、国保税の引き下げの要望がある。一般会計からの繰り入れを増額して、子どもの均等割りをなくすべきであることを主張し、検討を求めてきたが、検討はされなかった。そもそも、引き下げてきた国庫負担を元に戻すべきであり、地方3団体（全国知事会・全国市長会・全国町村会）から指摘されている1兆円の公費投入で、協会けんぽ並みに国保税の引き下げ

をすべきであると指摘し、反対する。

4年度 後期高齢者医療 特別会計決算

反対

【答】 高齢になれば医療機関を受診する機会が増えるのは当たり前だが、中には、医療負担を心配し受診控えが起り、重篤な病気や、手遅れになる例があると聞いている。高齢者の命と暮らしをどう守っていくのかが問われているのに、保険料の負担を強いてきた経過がある。国は、現役世代の負担軽減のために高齢者の負担を増やす政策を推進している。対立と分断を持ち込むやり方に反対する。

4年度 市立病院事業 会計決算

【問】 数年ぶりに当期純利益が計上されたが、その要因は。

【答】 過去、純利益が計上されたのが平成27年度であり、7



9月定例会本会議

【答】 年ぶりに純利益が計上された要因は外来と入院収益の増加があげられる。新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから、検査や入院などのコロナ対応に人員が奪われ、病床も感染病床に転換するなどしたため、一般外来と入院が低迷していたが、4年度からコロナ禍ではあったが外来、入院とも患者数が増えたことによる。また、医療外収益については、コロナ関連の補助金の増加や光熱水費高騰対策支援金が支給されたことも要因である。費用の面では、減価償却費が減少したことも影響している。

決算以外の主な議案

市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

【問】 市立病院の職員の新型コロナウイルス感染症に対する防疫作業手当の廃止とのことだが、これまでの実績は。また、条例施行期日10月1日までの間については、防疫作業手当の支給はあるのか。

【答】 2年2月から5年6月ま

でに総額2513万9千円を支給している。その後、従前に比べ院内の感染対策が緩和されてきたことから支給要件を満たさないものと判断し、6月末までの実績を手当の支給期間として、7月以降の支給はしないこととした。

中学校部活動 地域移行推進協議会条例

【問】 地域移行推進協議会の設置目的は、国から4年12月に出された部活動改革のガイドラインを受けたもので、早急に部活動の地域移行を行うためのものであるとのことだが、いつまでを目的に協議会を開催し、結論を出すつもりか。

【答】 国のガイドラインでは、地域の実情に応じ関係者の理解のもと、できるところから取り組みを進めることが望ましいとされている。また、5年7月に出された県の方針では、5年度からの3年間を環境整備期間、8年度からの3年間を環境定着期間と位置付けている。市では、環境整備期間中に休日における部活動の地域移行の指針を協議会で作っていく予定である。その後、準備が整った種目から順次、休日の部活動について段階的に地域移行していく。

工事請負契約の締結
(影森グラウンド多目的グラウンド
改修工事)

問 予算は3億2031万円であるが、トイレ改修は別途行われるのか。また、工事完了予定が6年3月22日予定とのことだが、駐車場等周辺整備は今後行われるのか。
答 トイレ改修工事および周辺整備工事等は含まれていない。今後、付帯設備として防球ネット、照明設備、観客席、トイレ等を整備する予定であり、現在、設計業務委託に向けて、庁内で調整を進めているところである。

問 工事後の維持管理について、市直営でやるのか、指定管理者制度などを採用するのか。
答 現在、検討中である。早急に調整したい。



人工芝となる多目的グラウンド

一般会計補正予算(第4回)

問 旧中津川小学校校庭整備工事の内容は。
答 4年9月に発生した中津川地区の土砂崩落の経験を踏まえ、中津川地区で急病人等が出た場合、防災ヘリが降りられる場所として旧中津川小学校校庭を想定したものである。現在の校庭では、ヘリの離着陸が困難な状況であることから、障害となつている立木や鉄塔の撤去、飛散物がないように対策工事を行うものである。

問 使用済紙おむつ処理支援事業補助金について、民間の保育園で紙おむつを処理する費用とのことだが具体的な試算は。
答 民間保育園7か所、認定こども園8か所、事業所内保育所2か所、認可外保育施設4か所を対象に、使用済み紙おむつの処分に掛かるごみ袋等の消耗品と、使用済み紙おむつを衛生的に保管しておくためのごみ箱の購入経費である。処分に掛かるごみ袋等の消耗品については、月額1人あたり300円を想定している。

問 安心・安全メール再構築・運用業務委託料の内容は。
答 現在1市4町で運用している安心・安全メールについては、5年度末でシステムのサポート期間

が終了する事から、新たなメール配信システムを再構築するためのもの。運用開始は、6年3月を予定している。

問 勤労者住宅資金貸付制度融資預託金の貸付内容は。
答 新築や増改築を行う際、有担保であれば1千万円まで(利率1・865%)、無担保であれば500万円まで(利率0・9%)での貸付けを行うものである。

問 観光客誘客事業(よるさんぽ)予算は、4年度の約半額(1200万円)となつているが、開催規模と内容は。
答 5年度も観光庁に補助申請をしており、採択されれば800万円が補助される。4年度と同じく、年明けの1月以降の日程で開催し、まつり会館のプロジェクトエクスションマップは行わず、東町・番場通りなどの周遊を意図し、滞在時間の延長を図る。

問 吉田・大田地区乗合タクシー運行事業、デマント交通事業補助金の増額理由は。
答 スマホによる当日予約が可能になったことから、4年度265人の利用が、5年4月以降40%増の373人で、今後も利用が増えるの見込まれるため。

秩父市議会
ホームページを
ぜひご覧ください

議会では市民の皆さんの生活に密着した事案が審議されています。市議会ホームページでは、定例会等の日程や審議する議案、過去の会議録や録画中継映像などについても確認することができます。また、議員名簿や議会だよりのバックナンバー等も掲載しています。今回、内容を検討し、よく使われる議会用語の解説や災害時における議会の対応なども掲載しました。市ホームページのトップページのバナーから、または「秩父市議会」で検索して、ぜひご覧ください。

